

# 読書の小径

Vol.110  
土岐市図書館  
☎1253

## 新刊案内

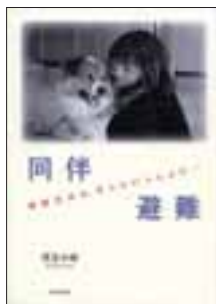


「ふくしまからきた子」  
松本猛、松本春野



「としょかんねずみ」  
ダニエル・カーク

ガリ版ものがたり	志村章子
空耳の科学ーだまされる耳、聞き分ける脳ー	柏野牧夫
58歳から65歳こそ使えるハローワーク徹底活用術！	日向咲嗣
ウイルスと地球生命	山内一也
塔とは何かー建てる、見る、昇るー	林章
東海 車で行こう！親子でハイキング	愛知山歩きの会
死と滅亡のパンセー	辺見庸
児童文学キッチンーお菓子と味わう、おいしいブックガイドー	小林深雪



## 「震災とペット」

東日本大震災と福島第一原発事故では、動物たちも被災しました。今回は震災とペットについて書かれた本を紹介します。ドックウッド『待っている犬ー東日本大震災で被災した犬猫たち』。飼い主の死亡も知らず、倒壊した自宅から動かない犬。避難所に一緒に入所できず、半壊の自宅で犬と一緒に暮らす飼い主。被災地で、そうした犬猫たちの保護などをし、飼い主たちの迎えを一緒に待つ仙台のドッグショップのスタッフとボランティアたちが救援活動中に残した、被災した人間と動物の300日の記録写真集です。

児玉小枝『同伴避難ー家族だから、ずっといつしよに…』。ペットを見捨てない。被災者たちの深い愛情と強い責任感、それを支えた避難所と動物愛護ボランティア。多くの人々が、愛するペットを置き去りにして避難せざるを得ない中、果敢に連れ出した家族もあり、そんな家族を受け入れてくれた避難所もありました。

森絵都『おいで、一緒に行こうー福島原発20キロ圏内のペットレスキューー』。避難するとき、やむを得ず置き去りにされたペットたちは、日々衰弱し、飼い主に再び会うことなく死んでいきました。その一方で、ペットレスキューーによって救われ、飼い主の元へ戻っていく幸運な命もまた少数ながら存在していたのです。活動の様子や、保護した犬たち、犬の飼い主や里親、預かりボランティアの姿を追い、その一刻一刻をつづります。

## 7月の休館日

2日(月)、9日(月)、23日(月)、27日(金)、30日(月)

### 開館時間

火～金曜日 10:00～19:00  
土・日曜日、祝日 10:00～17:00  
図書館は無料でご利用いただけます。

## お知らせ

図書館では、毎週土曜日午後2時からボランティアによる絵本の読み聞かせ会を開いています。7月7日は特別企画“七夕の集い”を行います。絵本の読み聞かせだけでなく、パネルシアターや工作など楽しいイベントを計画しています。

皆さんの参加をお待ちしています。